

# みしま

公民館報

3月

平成20年



戸祇の裾野に広がる、うっすら雪化粧に包まれた  
ふる里の家並を、城の森公園から静かに見おろす

# 三島の一年を振りかえる!!

今年も一年間、三島でいろいろな地域行事が行われました。年々、少子高齢化が進み、活動や催しなど取り組みが難しくなってきたものも出てきつつある状況ですが、人も町も元気でいられるよう、来年もご協力をお願い致します。



「三島ふれあい夜市」で踊りと歌を披露してくれる三島小児童達。このほか特設(?)ステージではカラオケや腕相撲大会も行われ、にぎやかな時間があつという間に過ぎていった。来年は小松保育所の園児たちも登場し、かわいらしい歌を歌ってくれるかもしれない。



着々と準備が進むJ A三島前駐車場。夜市の賑わいと出店を引き受けて頂いた全ての方が協力。



開場後1時間が過ぎる頃には、全てのテーブルが埋まり、席が足りなくなるほどに。

今年の三島の行事で一番印象に残っているのは「ふれあい夜市」ではないでしょうか。5月の公民館運営審議会で出された「地域の活性化に、夜市を復活させないか」との意見に、全会一致で賛成となった。最初は「本当にできるのだろうか」と、半信半疑のまま開催に向け会議を開いていたが、内容を詰めたり、協力を募ったりしているうちに、あれよあれよと言う間に開催当日を迎えることに。実現できたのは、審議委員さんが長となっていて、団体はもちろん、地元商店や営業クラブの皆さんの協力の賜物に他なりません。ふるさとを思って、やる気を漲らせる事ができれば、三島はまだまだ元気でいられますと確信した一夜となりました。



復活といえば、今年の三島夏祭りの火文字も、多くの人が思い出すものの一つです。「ふるさとみしま」という7文字は、商工会の会員さんが、何時間も費やして作り上げた芸術作品。ライトが落とされ、闇に包まれた会場に優しく燃上がった炎は、きっと皆さんの心の中の郷土愛にも灯ったことでしょう。



昨年から始まった、日吉地区と合同で開催される「音楽とワインの集い」。  
 今や地元のスターバンドとなった「OYAJ♪けんざいバンド」のデビューライブも昨年のこのステージでした。  
 今年は、キーボードのバンド「アンサンブル・ソレイユ」とヒップホップダンスグループ「ぼっぼ・ほっと・すぶりんぐ」からも出演申込があり、内容盛りだくさんの楽しく交流の輪も広がる「集い」となった。

毎年、6月と2月に実施しているパソコン教室。今年は、夫婦仲良くお勉強に励まれる姿もありました。パソコンは決して怖い機械ではないので、皆さん安心して学びに来て下さい。



地域を活き活き・きれいにするために、今年もたくさんのボランティア活動がありました。

- 🚗 交通パレードや交通茶屋の応援に来てくれる保育所園児
- 🗑️ 公民館や緑地帯の清掃美化を務めて頂くグループ
- 🧗 登山者を楽しく安全に頂上へと案内してくれる「戸祇山へ登ろう会」の皆さん



老若男女がソフトボール・レクバレー・クローケーに分かれ、部落対抗戦を行う地区球技大会。レクバレーの結果は、優勝：川上チーム 準優勝：下大野チーム となりました。





今年は生バンドで開幕。70年代のヒットソングを演奏する「OYAJ♪けんざいバンド」の皆さん。



昔、青年団で行っていた火文字「ふるさとみしま」が商工会の手によって20数年ぶりに復活。

## 三島夏祭り

8/15

町補助金	93,000円
自治会助成金	331,937円
組別負担金	529,000円
商工会寄附金	307,000円
出店料等	9,012円
合計	1,269,949円

で運営されました。

地区恒例の夏祭りは、八月十五日に開催。老若男女と帰省の人々が多数参加。「ふるさと」を会場に集まった全員で合唱。盆踊りは、広見音頭、各部落競演。有志等、目に楽しい。最後に星空にきらめいた華麗な打ち上げ花火。全ては多くの人の善意、協力の贈物。村の熱い夜だった。



小松区長

渡邊 吉輝



楽しく、笑顔で盆踊りを踊る各部落の皆さん。

## 四大行事

繰越金	964円
町委託料	719,550円
自治会助成金	94,347円
貯金利息	28円
合計	814,889円

で運営されました。

## 敬老行事

9/15

敬老会に出席しました。暑い一日でしたが、大勢の皆さんが出席され盛会でした。三島の懐かしい顔を見つけて談笑されている姿が多くみられて、式典は勿論の事ですが、敬老会の意味深さを実感した一日でした。



延川区長

森本 義忠



松浦町長より、笑みを浮かべ米寿表彰を受ける山本蒼生子さん（久保）



美しいハーモニーは日吉コールナチュレルの皆さん



音楽に合わせリズムカルに踊る小松保育所園児



歯を食いしばり全体重を載せ綱を引く広見の皆さん



消防団恒例の「むかで競争」。訓練時はうまく息が合っている団員達も、競技ともなれば・・・



選手は1体となり縄を跳ぶ、観る者は勝利を祈って掛け声を合わせる。競技者と観客が一つになった瞬間

「川上・総合優勝」、選手の皆さん応援して頂いた皆さん、お疲れ様でした。盛大に行われた大運動会。日頃の運動不足を気にもせず全力で頑張る姿に元気をもらいました。勝負は時の運、皆さん元気で来年も運動会を楽しみましょう



川上区長

土釜 邦男

9/23

## 大運動会

町補助金	127,000円
自治会助成金	82,563円
合計	209,563円

で運営されました。

## 三島地区



牛鬼は高瀬嘉久さん（川上）が出品



はげます会、名場面的一幕



大入り満員の婦人会バザー

農民祭では、異常気象の中の想像を上回る農産物の出品。皆様の努力にただただ感謝。文化祭でも、子供達の元気あふれる演技に負けないような一般の部の頑張り様を拝見。三島のパワーはすごい。私ももっと頑張つて子供達の成長を見守っていかねければ。



広見区長

土釜 康博

繰越金	5,350円
自治会助成金	25,000円
J A関係助成金	100,000円
森林組合助成金	15,000円
農振協助成金	70,000円
野菜売上等	29,776円
合計	245,126円

で運営されました。

11/18

## 農民祭・総合文化祭



見事な出来栄えの農産物に、感心しながら目を遊ばせる来場者



綺麗どころが揃い、いよいよ農民祭バザーの開店。「さあ、みんな！気合を入れてお接待よ！」。今年は例年を大きく上回る約500人のお客様が来場し、少人数体制ではかなりの忙しさだったようです。

## 三島婦人会々々入りませんか

家庭においてはもちろん妻・母として女性の力は計り知れません。そして地域の安心ある暮らしと活性化にも女性の力が不可欠です。なぜなら、女性は明るい家庭と地域の建設者でもあるからです。

昭和二十四年に結成された歴史と伝統のある婦人会。当時は、女性の固定的な役割分担があり、女性は家に居て家庭を守るといのが当たり前で、外に出ることも少なく、自由も限られていた時代だったようです。

そうした女性を取り巻く現状を見直そうと全国的に婦人会が設立されることになり、ここ三島においても同時期に組織づくりが行われました。以来、  
○婦人の教養を高め、地位と生活を向上させよう  
○趣味を持ち生き生きとした生活をおくろう  
○地域の担い手として、人々の連帯の和を広げよう

などを目的に、学習会や研修会・趣味の集い・清掃等ボランティア・災害時の炊き出し・地域行事への協力といった活動に取り組み、婦人同士の交流と連携を広めながら、社会的な地位も築いて来られました。

しかしながら時代の変遷と共に婦人の意識もかわり、会運営に問題点が生じれば、その都度、対策を講じてはみるものの左ページの表あるように、会員数は減少。活動の継続が危ぶまれる状況となっています。

三島に暮らす婦人の皆さん、先輩方の努力により、今日まで脈々と受け継がれてきた婦人会に入会して、愛しい三島のために生き生きと楽しく活動をしてみませんか。

## 会員数の推移 (単位：人)

年度	川上	延・久	小松	下大野	広見	計
元	79	48	25	2	25	179
2	80	46	28	0	25	179
3	58	45	29	0	22	154
4	57	46	26	0	22	151
5	57	47	22	0	19	145
6	55	45	23	2	18	143
7	52	46	21	2	17	138
8	50	41	27	2	13	127
9	48	34	24	2	12	120
10						110
11						107
12	40	31	22	2	12	106
13						93
14						82
15	36	28	14	1	6	85
16	36	28	14	1	6	85
17	19	7	3	1	5	35
18	19	6	2	1	4	32
19	13	6	2	2	4	28



敬老会に続きJA女性部大会でも披露した笑顔で踊る「お祭りマリンポ」。振り付けは会員自ら創作したもの。

「♪いい湯だな♪アハハン・いい湯だな♪アハハン・ここは肱川鹿野川荘の湯」。みんなで温泉とご馳走を満喫し、心も身体もリフレッシュした1日研修旅行。

## 婦人会に想つ事



伊手リツエ  
(川上)

私が会員になったのは昭和三十七年。嫁いですが、母の後を継ぐような形での入会でした。

その頃は家毎に会員がいたのでとても賑やかで、婦人学級など集会は、皆が子供を連れて楽しく、交流が図れたものでした。

時代が変わり平成になった頃には、外で働く人も増え、後継ぎも無く、若い人は自分の好きな道を

歩くようになったからか会員数は減少の一端。残っている会員も、働いている人達などは、役は大変だと、各部落の支会だけの繋がりの方が多くなってしまいました。

町へ、県へ繋がりがなければ小さく脆弱な集まりに過ぎません。婦人会が一本の木として丈夫な枝をはり、その枝に大きな実がなるようにするためには、全員がせめて三島までは繋がっていることが必要なのではないでしょうか。

婦人会という大きな組織を、皆で愛し、盛り立てていく事で、楽しく意義のある会になるよう心から願っております。

## 婦人会の現状



葛川多美代  
(川上)

今、婦人会は、少人数ながらも何とかやっています。心配な事がたくさんあります。

役員のなり手が無い、行事に出てくる顔ぶれがいつも同じ、会員

を増やす手立てのない現状。昔の主婦は出て行く機会が少なく、婦人会へ行く事が楽しみだったとよく聞きました。今はほとんどの皆さんが仕事をもち、したい事も自由にできる状況ですが、逆に人の関りの希薄さも感じます。

若い主婦から年輩の主婦まで幅広く入会して頂ければ、色々な事を学び合えるし、更に住みよく清潔な地区になると思うのです。ご協力をお願い致します。

「日本のきれいな水と美しい緑を取りもどす全国大会」にて、最優秀賞（大臣表彰）の賞状と副賞を授与される酒井哲夫会長（H20.1.14死去）と清家茂さん。



### 主な受賞歴

年度	授与者	受賞内容
14年	町社会福祉協議会	ボランティア団体
14年	コミュニティ推進協議会	住民活動優良団体
15年	伊予銀行	地域文化活動功労
16年	愛媛経済同友会	美しい町づくり活動
17年	日本河川協会	河川功労者
18年	愛媛県知事表彰	自然環境の修復保全
19年	環境大臣表彰	水・自然環境保全活動

「広見川を守る会（菊澤尋吉会長）」の意思を引き継ぐ形で平成8年10月に発足した「広見川夢の会」。以来「広見川を世界で一番美しい母なる川にしよう」を合言葉に、できることからコツコツと活動を続け、今年で11年目を迎えます。

その活動が認められ、昨年11月には「第3回日本の水と美しい緑を取りもどす全国大会（福岡県）」において、環境大臣表彰となる「水環境保全活動・自然環境保全活動等功労者表彰」の最優秀賞を受賞されました。

「夢の会」は本紙面にも幾度か掲載した「稚鯉の放流事業」や「講演会」以外にも、自然環境の保全や、住民の意識の向上を目指す多くの活動を実施されています。

今月号ではこの度の受賞を記念して、また皆さんに「ふるさとの大切さ」をあらためて考えて頂く機会になればと、「夢の会」の活動の全容をご紹介しますと思います。

# 夢は大きく、活動は地道にコツコツと！ — 広見川夢の会 —



「若者塾」から平成15年にバトンタッチされ、「夢の会」が主催となって開催している「広見川上り駅伝大会」。優勝旗の無い駅伝大会では寂しいと、酒井勲さん・山本善一さん2人の会員が、男子・女子駅伝の部それぞれに、立派な優勝旗を寄附された。

## これまでに開催された講演会の講師の方々

H9年度	日本ホテルの会副会長	矢島 稔 氏
10年度	東京大学名誉教授	佐々 学 氏
11年度	岐阜大学名誉教授	安江多輔 氏
12年度	玉川大学教授 愛媛県環境創造センター所長	松香光夫 氏 立川 諒 氏
13年度	愛媛大学名誉教授	佐藤晃一 氏
14年度	国交省中村事務所副所長	亀山 忠 氏
15年度	東雲大学教授	石川和男 氏
16年度	川崎医療福祉大学名誉教授	江草安彦 氏
17年度	玉川大学教授	小原宏之 氏
18年度	環境省 事務次官	炭谷 茂 氏
19年度	元NHK放送総局長	松尾 武 氏



地域の皆さんに河川環境や自然に関する知識を高めてもらおうと、毎年、会長の人脈により各界の権威ある方々に依頼し開催されている「広見川の夢 講演会」。



春の広見川の彩りに川岸を花いっぱいにとしようと、毎年秋に、子供達とナタネ・レンゲの播種を実施。



子供達に命の尊さを知ってもらいたい、広見川が命にあふれる川に戻ってほしいと実施された「稚鯉の放流」。10年間にわたり、酒井会長宅の池で孵化・育成した稚鯉約20万匹（5月と10月に10,000匹ずつ）が放流された。



三島明日考会・ライオンズクラブと一緒に、ネイチャーダム建設に向けた「ケヤキ」の植樹事業も、夢の会の重要な活動のひとつ。



先祖・新仏の供養と共に、世界の平和を祈願する、「広見川灯ろう流し」。灯ろう流し保存会・広見川盆踊り保存会と共に毎年実施。



広見川に自生息のホタルが乱舞するようにと、カワニナの移しかえなど支流河川の環境作りを実施。成果が上がり、「ホタルの里マップ」の作成配布や、シーズン中の「ホタル鑑賞地」の看板立てなども行っている。

# 三島のサークル・クラブの紹介

## aladdin

- ① 楽しく賑やかな若者の多いレクバレーチーム。
- ② 12人（男性4人・女性8人）
- ③ 毎週木曜日8：00～ 三島小体育館
- ④ とにかく笑いのたえない明るく個性豊かなチームです。予想もつかない攻撃バレーを目指して、楽しく日々頑張ってます。流した汗の分、水分補給も忘れません。



## 三島クラブ

- ① 明るくお茶目なファイトあふれる20代～50歳代の幅広い層の女性で構成。
- ② 10人
- ③ 毎週水曜日8：00～ 三島小体育館
- ④ 家庭を愛し、レクバレーをこよなく愛す、おしゃべり大好きチームです。各種レクバレー大会にも参加。実力急上昇？是非応援を！！



## コスモス

- ① 平均年齢は少々高いけど「いつまでも若々しく元気です！」をモットーに楽しんでいるレクバレーチームです。
- ② 11人
- ③ 毎週木曜日8：00～ 三島小体育館
- ④ 運動不足やスタイルの気になる方、一緒に爽やかな汗を流してみませんか！お待ちしております。



## 三島体操クラブ

- ① いつまでも若々しく健康な身体を維持しようと、呼吸法やストレッチ体操を実践しているご婦人方のグループ
- ② 6人
- ③ 毎週水曜日7：30～ 三島公民館
- ④ 一人では続かない人も、仲間を取り組めば必ず継続できます。動くことの少なくなってきた方は、健康のため、ぜひご参加を。



- ① 会の内容
- ② 会員数
- ③ 練習等
- ④ その他

会の詳細や入会  
のお問い合わせ  
は、三島公民館  
48-0111 まで

メンバーを募集しています。  
私たちがといっしょに楽しみませんか！



## 三島っ子ファイターズ

- ① 三島内外の元気いっぱいの小学生による硬いボールを使ったバレーチーム
- ② 20人（男子4人、女子16人）
- ③ 毎週土曜日 19:00～ 三島小体育館
- ④ 福入監督の指導のもと、中学生になって即実践できるバレーを目指し、基本訓練を中心に試合練習までやっています。広げませんか友達の輪。一ぺん見に来てや！



## 三島剣道スポーツ少年団

- ① 剣技を磨きながら、礼儀や忍耐力を養う伝統ある三島の少年団
- ② 9人（小学生7人・中学生2人）
- ③ 月・金（三島小）、水（総合公園）
- ④ 団員は少なくなりましたが、三島のマメ剣士の強さは昔のまま。後援会の強力なバックアップの下、日々猛稽古をしています。健康な体づくりのためにも、ぜひ一緒に汗を流しませんか。



## 三島囲碁クラブ

- ① お天気が悪くお百姓ができない時などにみんなで集まり、楽しく腕を競っています。
- ② 5人
- ③ 公民館で不定期に集合
- ④ せめて5手向うまで読む能力を高め、楽しみながら知恵をしぼり棋力の向上を計っています。高段者の指導よろしきを得て腕を挙げている人もあり希望の持てる会があります。



## 古事記に親しむ会

- ① 日本は、<sup>やおよろず</sup>八百万の神々が宿る国。古事記に触れ親しみながら日本人の心を学んでいます。
- ② 12人
- ③ 公民館で毎月第1・3木曜日
- ④ 3月5日に初会合をもった産まれたてホヤホヤのグループです。難しかったり堅苦しかったりする会ではありませんので、気軽に参加して下さい。



愛治小との合同野外キャンプ1日目は、延川轟の飛び込み岩から広見川に向けて元気良くダイブすることから始まった。

# 戸祇の子学級

老人クラブをはじめ、地域の諸先輩方に見守られながら「三島の宝」として成長していく「戸祇の子」達。思い出を胸に小学校を巣立つ修了生11人と担任の新城先生、また協力を頂いた皆さんの「温かい思い出」を、写真と文でご紹介します。

この2年間でたくさん  
の思い出がた  
まりました。中学校へ  
行く。でも勉強に  
部活にかんがいはず、



善家 勝大

クローカーや遊具が  
初めてやることも、た  
くさんあって、分から  
ないことも多々あ  
り、ありがとうございました。  
ありがとうございました。



清家 信

クレーンゲームは、初めて  
作った。どうもできて  
よかった。でも、また  
クローカーも初めて  
た。最初は楽しかった  
けど、楽しかったです。



懸川 紇平

僕は、クローカーが  
好きなので、この2年  
間老人会のクロー  
カーで楽しくてきま  
す。2年間ありがとうございました。



高田 太一

クローカーで1位にな  
り、竹とんぼを作、た  
りしてとても楽し  
かったです。2年間あり  
がとうございました。



節家 幸恵

2年間の中で一番  
心に残ったのは、し  
めなわ作りです。中  
学校へ行く。でも勉  
強に部活に頑張ります。



塩崎 あさか



3



1



4



2

③開講式で互いに自己紹介 ④キャンプ2日目は、明浜の海でシーカヤック ①戸祇山を征服してポーズ ②夏休みクロッケー大会

3/3	2/18	12/25	11/26	11/4	10/23	8/30	8/3・4	7/2	6/25	5/21	
閉講式・クロッケー大会 三島老人クラブ役員	お茶作法教室 山本美恵子・清水晴代	田舎饅頭作り 清家鈴枝・松浦ムネコ	注連飾り作り 三島老人クラブ役員	炭焼き体験（窯入れ） 十二月十一日（窯出し） 程内 覚	戸祇山登山 戸祇山へ登ろう会	いもたき&クロッケー 三島老人クラブ役員 松下若恵・松浦ムネコ	夏休みクロッケー大会 三島老人クラブ役員	愛治小合同野外キャンプ 三島・愛治青年団	カヌー教室（雨天中止） 町生涯教育課職員	竹とんぼ作り 三島老人クラブ役員	開講式・クロッケー大会 三島老人クラブ役員

各教室に協力を  
頂いた皆さん

クロッケーでは、老人の方に教えていただき、今は上手にできるようになりました。ありがとうございました。



宮内 遼

クロッケーはじめの作りなど、初めてやるのがたくさんあって、とてもいい思い出になりました。



増原 佳奈

クロッケーを、教えていただき、ありがとうございました。



二宮 遼子

学校だけでは学べないたくさんのお話を教えていただきました。ふるさと三島を愛する人になりたいと思います。



新城 久志

クロッケーが楽しかったです。中学校では小学校で習ったことを生かしていきたいです。



松浦 隼

老人クラブの方々に、たくさんのお話を教えていただきました。どれもとても楽しかったです。



島中 茉里



2



1



4



3



6



5

①年の瀬の注連飾り作り教室 ②いもたきの火加減は男子の仕事に ③④竹を削り、完成した竹とんぼを、これから大空へ  
⑥饅頭作りの日は、残念、風邪で二人お休み ⑤いもたき交流会のシメは、恒例の「いつもありがとう」肩叩き

稲藁を提供して十数年、戸祇の子学級での利用有難く思う。  
当日、自分達で作った注連飾りを持ち帰る子供達に出会った。「良いのが出来たね」と声を掛けると笑顔で帰って行った。学級での思い出は、いつ迄も心に残る事と思う。



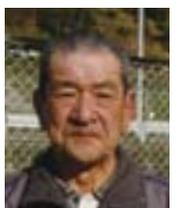
下大野亀鶴会  
二宮 健三

クロツケーは最後は練習の成果が表れ活発なゲームができるようになって満足していた様子。しめ飾り作りも、慣れない藁細工に苦労したようだが、熱心に取り組み立派に仕上がりが喜んでいた。何事も努力だぞ！



広見高砂会長  
都川 祐明

戸祇の子学級で元気一杯の子供達と沢山、思い出に残る交流をしてきた。  
六年生諸君、四月から花の中学生、大人に成る為の基を創る大事な三年間。三島つ子の意地を見せる、努力の先に必ず広大な道が広がる、頑張れ！



老連三島支部長  
松浦 忠



①戸祇山登頂5・6年生 ②戸祇山登頂1～4年生 ③お茶お作法教室 ④饅頭作り ⑤愛治小とキャンプでカレー作りの腕比べ  
⑥炭焼き（窯出し）⑦キャンプ2日目朝食は「名物安森そうめん流し」 ⑧いもたきの味付けは女子が担当

春近い二月、恒例の「饅頭作り」の日、割烹着姿の五・六年生やる気満々。よもぎと南瓜入りの形良い饅頭が出来ました。後片付けも自ら進んででき、後はお茶作法教室のお菓子に。地域の人達に大切にされて本当に幸せだね。



下大野女性部  
清家 鈴枝

今こうして子供達のキャンプに協力している僕達も、小6の時は同じように地元先輩お兄さん達にお世話をして頂いた。今年の卒業生の中にも、将来、故郷のチビっ子達の指導者になってくれる子らがきっといるものと信じています。



三島青年団長  
松本 真吾

「饅頭作り」や「芋たき会」にお手伝いをさせて戴き、子供達の明るい笑顔に接し大変嬉しく感謝しています。また、どこかで「田舎饅頭」を見かけた時には、懐かしい「戸祇の子学級」を思い出してほしいです。



元三島婦人会  
松浦ムネコ

リレー  
エッセイ

# 我が愛しの三島

No.17

三島に暮らす人々に、三島の良さ・好きなところ・改善点などを語っていただくコーナー。今月号は、「ねっこの会」で定期的に活動を続けられている今井さんに執筆していただきました。



「ねっこの会」で楽しくお勉強をされている智恵さん（写真右から2人目）と仲間の皆さん。  
会の活動内容を紹介したチラシが公民館・小中学校・保育所にありますので、そちらもぜひご覧下さい。

## —地域の元気の源はお母さん—

今井 智恵さん（延川）

家にとじ籠もりがちだった私を訪ねて来て下さった方がありました。「お母さんの勉強会をやっているから、参加してみませんか。」と声をかけて頂きました。それが「ねっこの会」です。

これまでに参加した人は、鬼北町を中心に宇和島市や松野町などからもあり、年齢は三十代から六十代まで様々です。子どもなど家族のことで悩みを相談したり、「人生は、一生勉強だから。」と他の人達の話を聞いて学んだりしています。もちろん、話の内容は個人的なことが多いので、その場限りにして、外へは持ち出さない約束です。

月一回の「ねっこの会」ですが、私はこの会に参加するようになって、少しずつ気持ちが楽になり、明るく元気になってきました。

「お母さん」が元気になると、子どもはもちろん、家族が元気になります。家族の元気は、地域の元気につながっていくのではないかと思います。

子育てなど、ちよつと悩んだとき、足を運んでおしゃべりしませんか。こんな「ねっこの会」の活動は私の楽しみの一つです。

## 香典返しのお礼

三島公民館主催事業・三島自治会各種活動へ、次の方から金一封をいただきました。心より厚くお礼申し上げます。

一月二十五日	平井 一志さん	(延川)
一月二十五日	芝 清明さん	(小松)
一月二十八日	田中 勉さん	(広見)
二月 十八日	山口亀代徳さん	(延川)
二月二十六日	酒井 創さん	(久保)
二月二十九日	松本 俊一さん	(小松)

## 編集後記

三島公民館長 葛川 熊夫

今年の3月号は、昨年と比べボリュームを倍にして、全16ページの冊子としてお届けできることになりました。

編集にゆとりが生まれ、行事の紹介にとどまらず、婦人会の切実な現状や、故酒井先生が手がけた「夢の会」の活動概要にも触れる事ができ、三島のことを一層考えて頂ける紙面になったように思います。

表紙については、婦人会の温泉シーンの一葉と最後まで採用を迷いましたが、雪景色の写真に落ち着きました。内容と合わせ、皆さんの感想をお待ちしております。

